

警察活動等に関する 道民の意識調査結果



令和3年10月

北海道警察本部

調査実施状況

1 調査目的

犯罪や事故のない安心して暮らせる北海道の実現に向けて、北海道警察の重要課題や主要施策について、道民の意識を調査してニーズを把握し、各種施策に反映させることを目的とする。

2 調査項目

(1) 調査対象者に関する事項

ア 性別（2区分）

男性、女性

イ 年代（5区分）

20歳代以下、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代

ウ 居住地域（4区分）

札幌市、人口10万人以上の市、同10万人未満の市、町・村

(2) 調査事項

ア 北海道の治安

イ 北海道警察の活動

ウ 妨害（あおり）運転

エ 北海道警察による広報活動

3 調査方法

(1) 調査期間 令和3年6月中

(2) 調査地域 北海道全域

(3) 調査対象者 北海道に居住する運転免許更新者（19～69歳の男女）

(4) 調査対象数 1,293人（配布数）

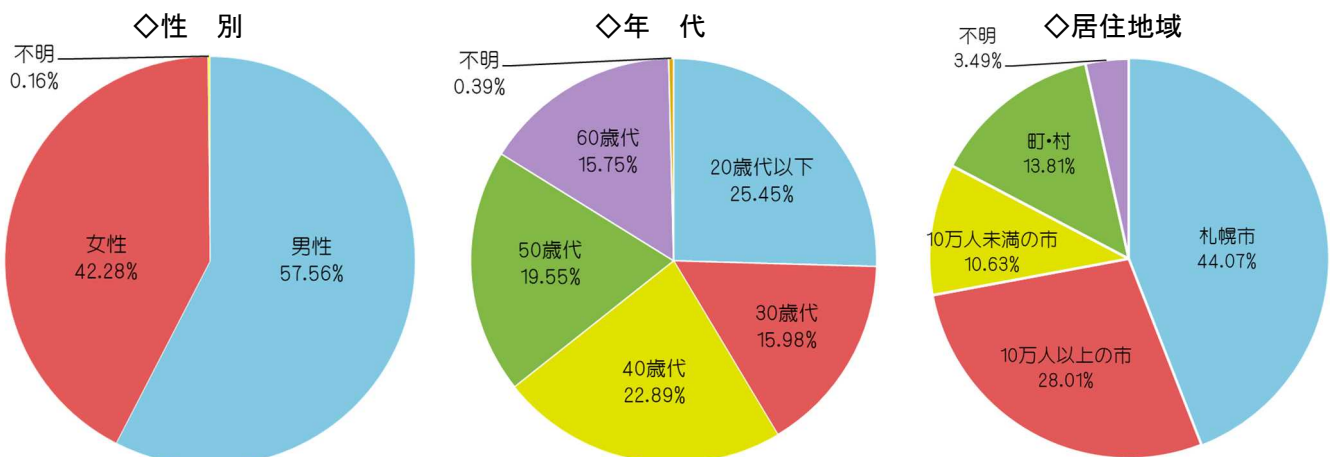
(5) 抽出方法 北海道内の運転免許試験場の免許更新者から無作為に抽出

4 調査対象者の概要

(1) 有効回答者（率）1,289人（99.69%）～全ての質問の半数以上を適切に回答した方

(2) 無効回答者（率）4人（0.31%）～有効回答者以外の方

5 有効回答者の構成



6 調査結果に関する留意事項

(1) 回答率

原則として％（パーセンテージ・百分率）で表記しており、小数点以下第３位を四捨五入し、小数点第２位までを表記しているため、回答率を合算した場合、100％にならない場合がある。

(2) 複数回答

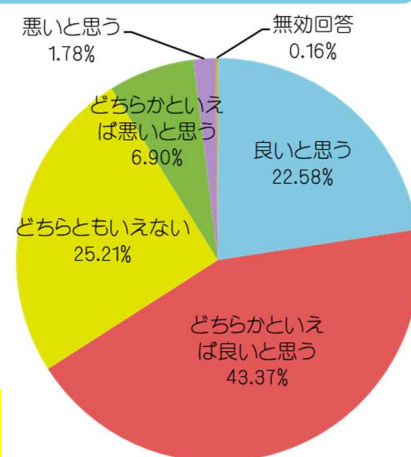
１人の回答者が２つ以上の回答をしてもよい質問（複数回答）の場合、通常その回答率の合計は100％を超える。

1 北海道の治安

問1 北海道の治安についてどのように思いますか。

※（ ）内の数値は、昨年調査時と比較したもの

「良いと思う」	22.58% (-2.52pt)
「どちらかといえば良いと思う」	43.37% (-5.25pt)
「どちらともいえない」	25.21% (+4.39pt)
「どちらかといえば悪いと思う」	6.90% (+2.63pt)
「悪いと思う」	1.78% (+0.91pt)
「無効回答」	0.16% (-0.16pt)



※「良い層」 65.95% (-7.76pt)
「悪い層」 8.68% (+3.53pt)

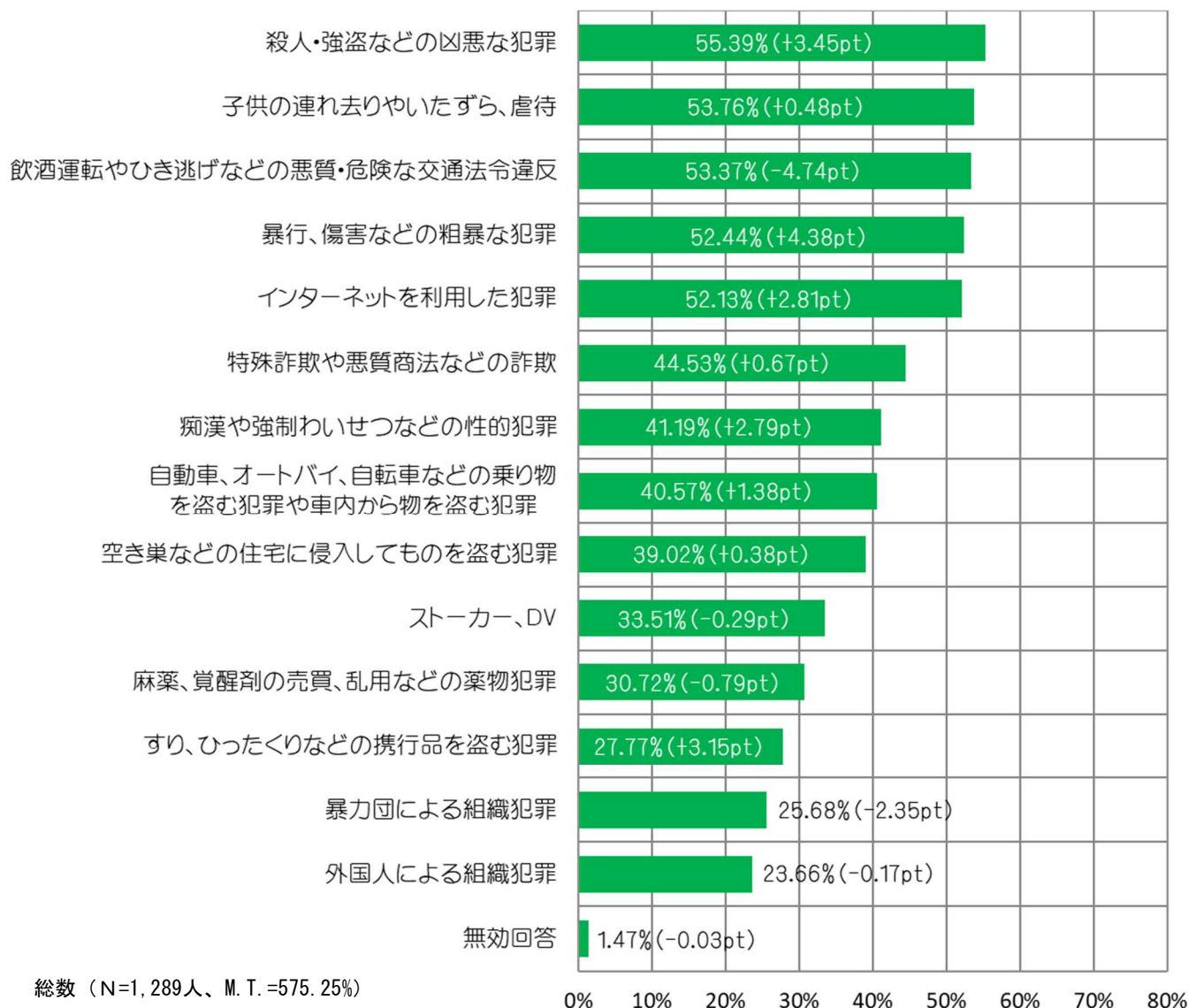
「どちらかといえば良いと思う」が最も多く約43%を占め、次いで「どちらともいえない」「良いと思う」となっています。

「悪いと思う」は最も少なく約1.8%でした。

「良い層」を合わせると約66%の方が「治安は良い」と思っています。

問2 不安を感じる犯罪や特に力を入れて取り締まってほしい犯罪は何ですか。(複数回答)

※（ ）内の数値は、昨年調査時と比較したもの



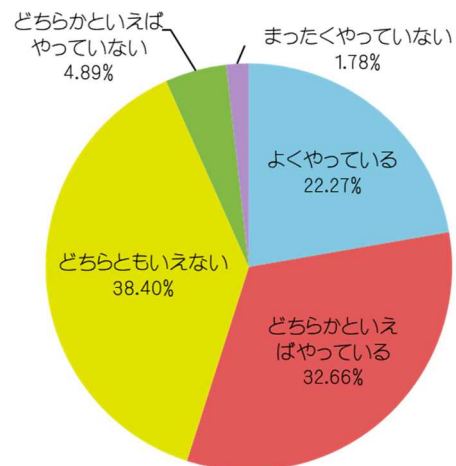
「殺人・強盗などの凶悪な犯罪」が最も多く約55%を占め、次いで「子供の連れ去りやいたずら、虐待」「飲酒運転やひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反」となっています。

2 北海道警察の活動

問3 北海道警察の活動をどのように感じていますか。

※（ ）内の数値は、昨年調査時と比較したもの

「よくやっている」	22.27% (+2.08pt)
「どちらかといえばやっている」	32.66% (-3.92pt)
「どちらともいえない」	38.40% (+1.43pt)
「どちらかといえばやっていない」	4.89% (+0.53pt)
「まったくやっていない」	1.78% (+0.68pt)
「無効回答」	なし (-0.79pt)

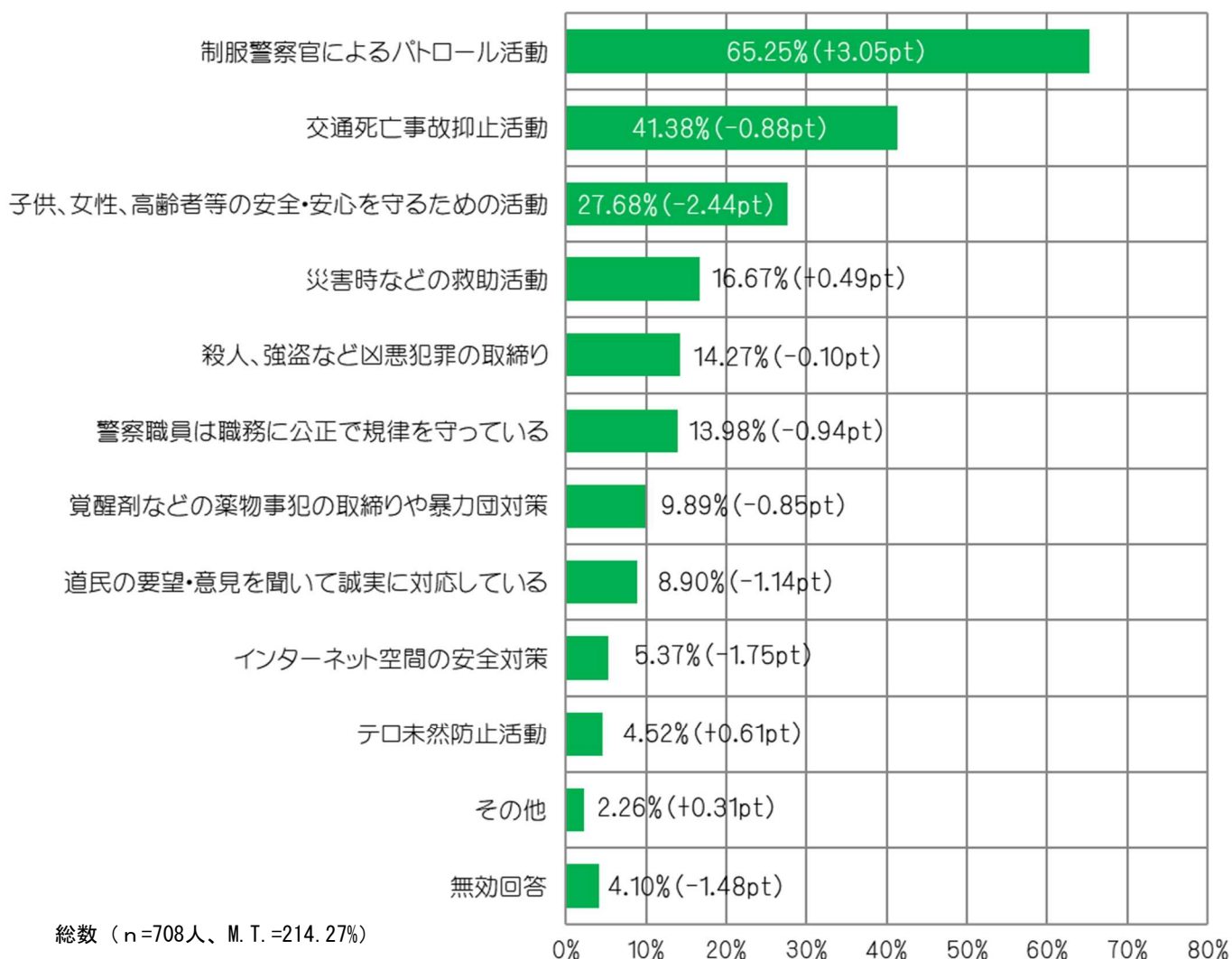


「どちらともいえない」が最も多く約38%を占め、次いで「どちらかといえばやっている」「よくやっている」となっています。
「まったくやっていない」は最も少なく約1.8%でした。
「やっている層」を合わせると約55%の方が「やっている」と感じています。

※「やっている層」 54.93% (-1.84pt)
「やっていない層」 6.67% (+1.21pt)

問4 問3で「よくやっている」「どちらかといえばやっている」と答えた方（54.93%）の理由（複数回答）

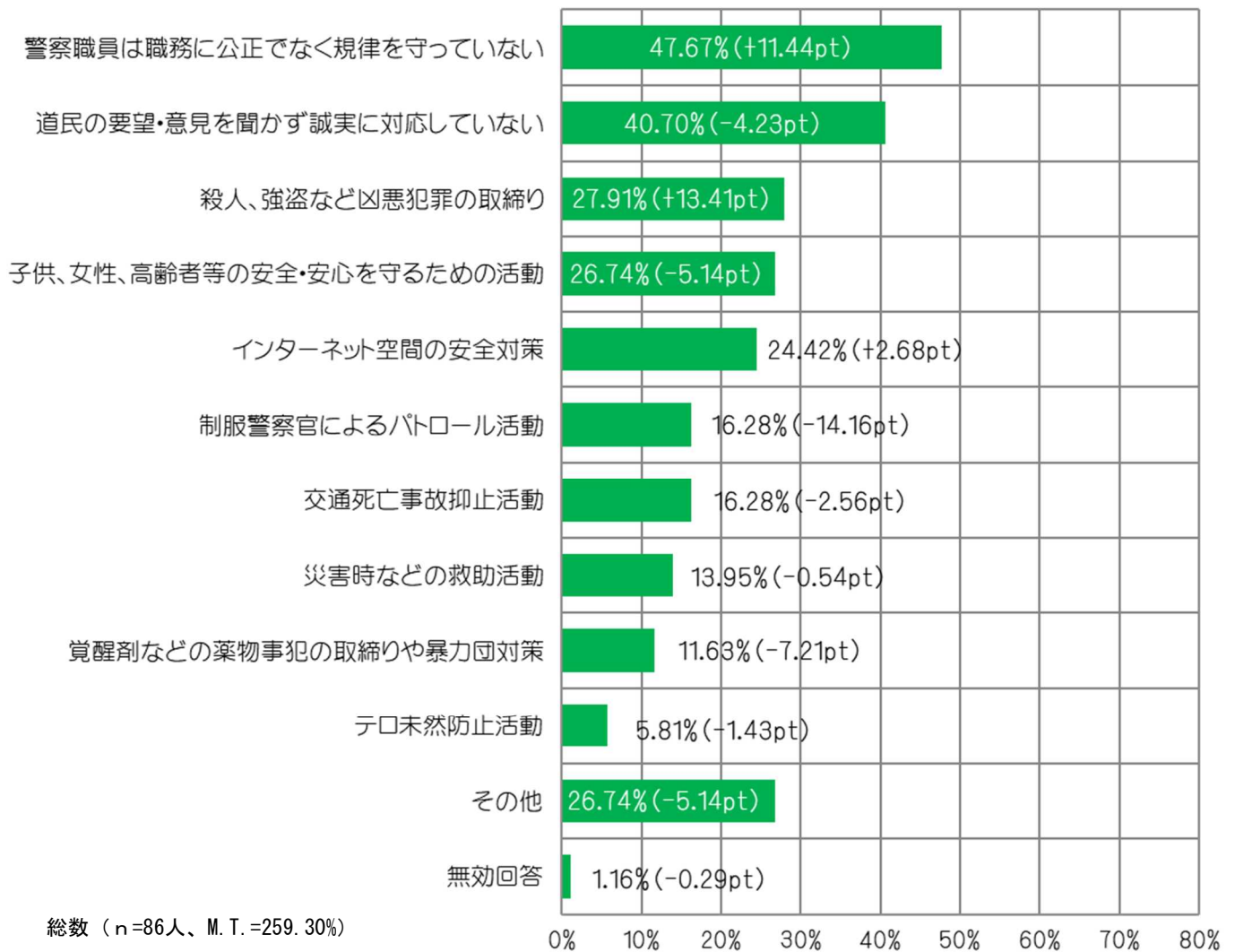
※（ ）内の数値は、昨年調査時と比較したもの



「制服警察官によるパトロール活動」が最も多く約65%を占め、次いで「交通死亡事故抑止活動」「子供、女性、高齢者等の安全・安心を守るための活動」となっています。

問5 問3で「まったくやっていない」「どちらかといえばやっていない」と答えた方（6.67%）の理由（複数回答）

※（ ）内の数値は、昨年調査時と比較したもの



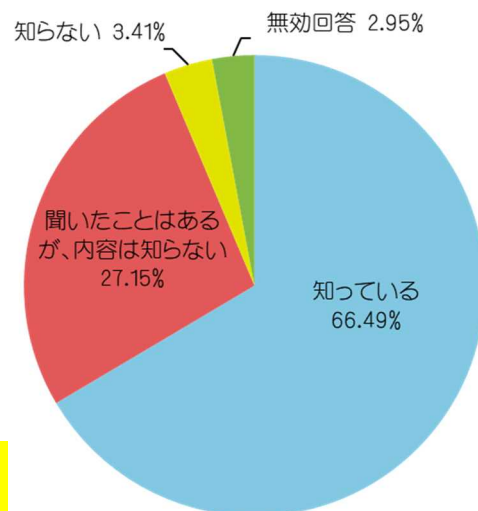
「警察職員は職務に公正でなく規律を守っていない」が最も多く約48%を占め、次いで「道民の要望・意見を聞かず誠実に対応していない」「殺人、強盗など凶悪犯罪の取締り」となっています。

3 妨害（あおり）運転

問6 昨年、妨害（あおり）運転の厳罰化を盛り込んだ改正道路交通法が成立したことを知っていますか。

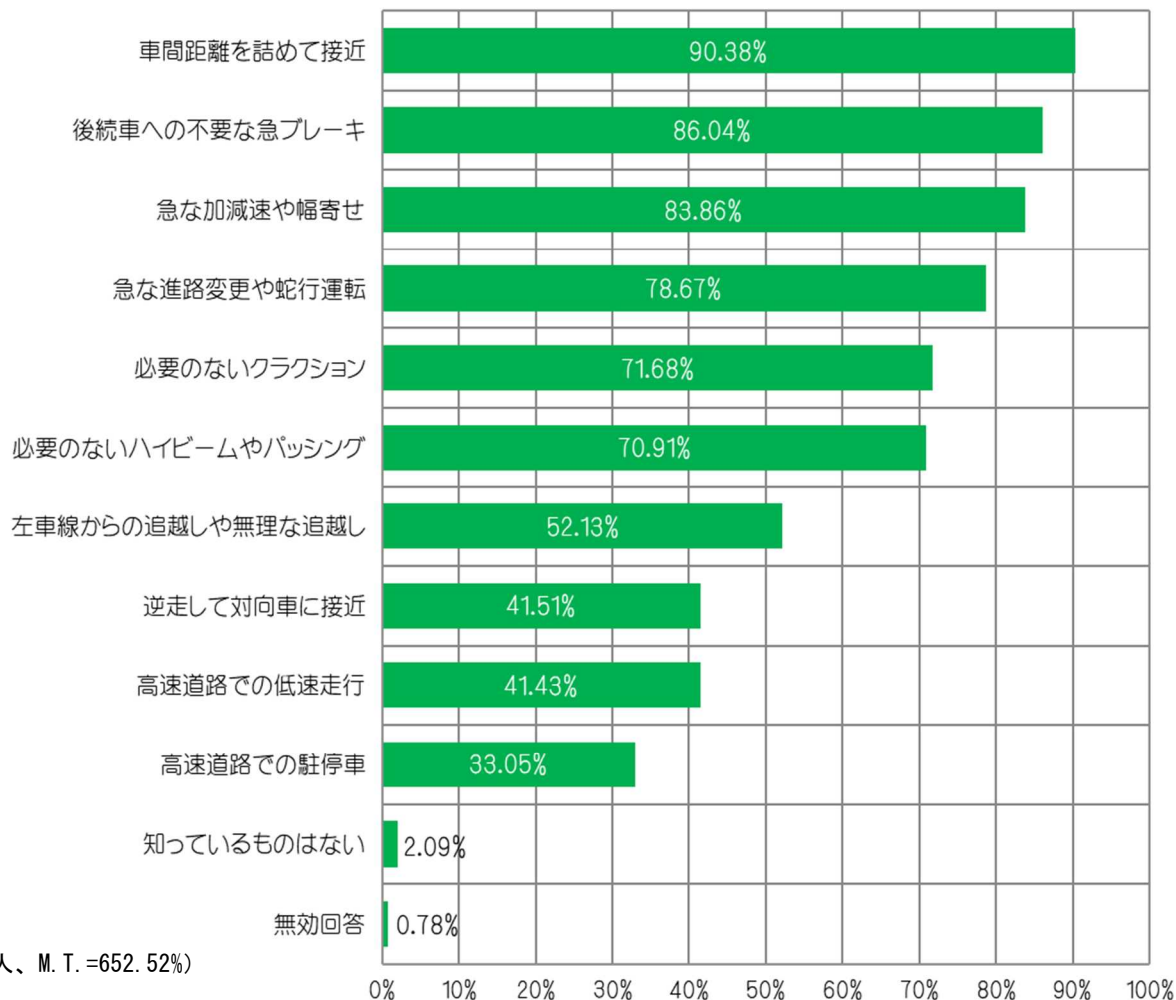
※ 妨害（あおり）運転とは、他の車両の通行を妨害する目的で、「一定の違反」を行い、当該他の車両等に道路における交通の危険を生じさせるおそれのある運転のことをいいます。

「知っている」	66.49%
「聞いたことはあるが、内容は知らない」	27.15%
「知らない」	3.41%
「無効回答」	2.95%



「知っている」が最も多く約66%を占め、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」となっています。
「知らない」は最も少なく約3.4%でした。

問7 妨害（あおり）運転の対象となる「一定の違反」とは何か知っていますか。（複数回答）

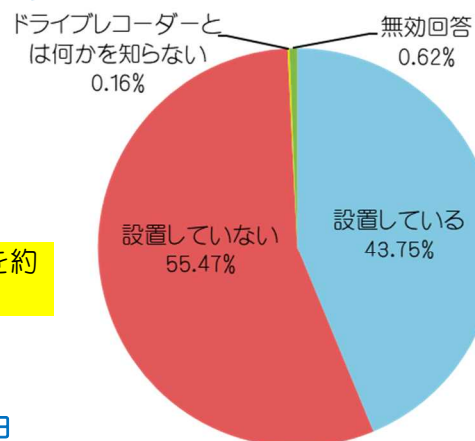


「車間距離を詰めて接近」が最も多く約90%を占め、次いで「後続車への不要な急ブレーキ」「急な加減速や幅寄せ」となっています。

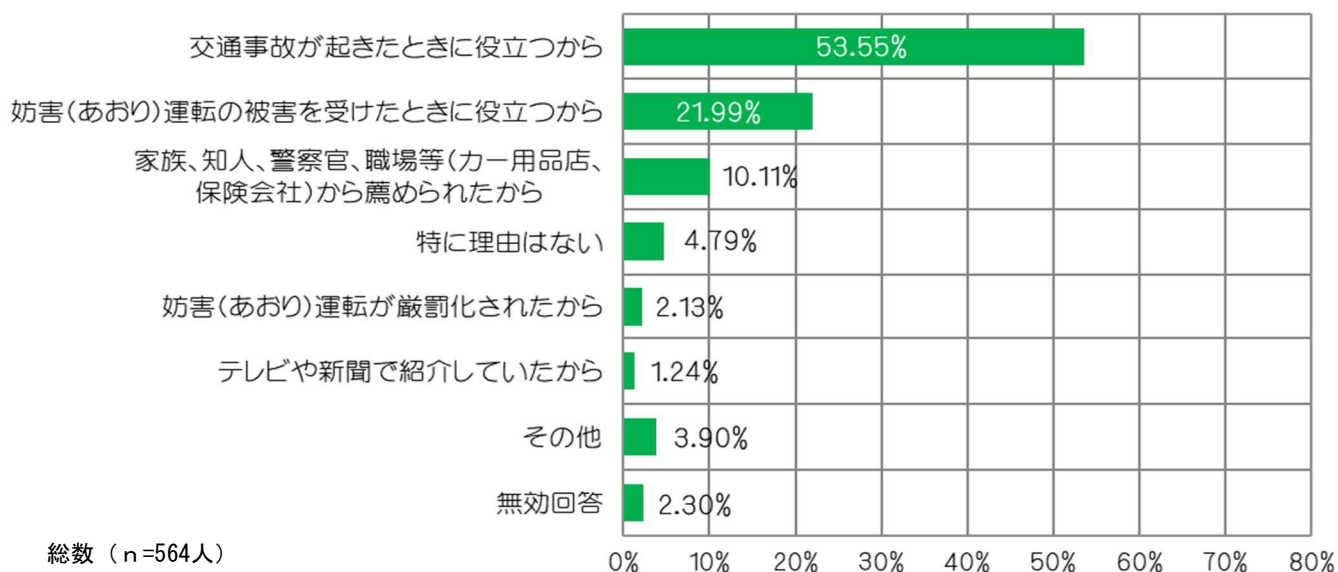
問8 自分（家族）の車にドライブレコーダーを設置していますか。

「設置している」	43.75%
「設置していない」	55.47%
「ドライブレコーダーとは何かを知らない」	0.16%
「無効回答」	0.62%

「設置していない」が最も多く約55%を占め、「設置している」を約12%上回りました。

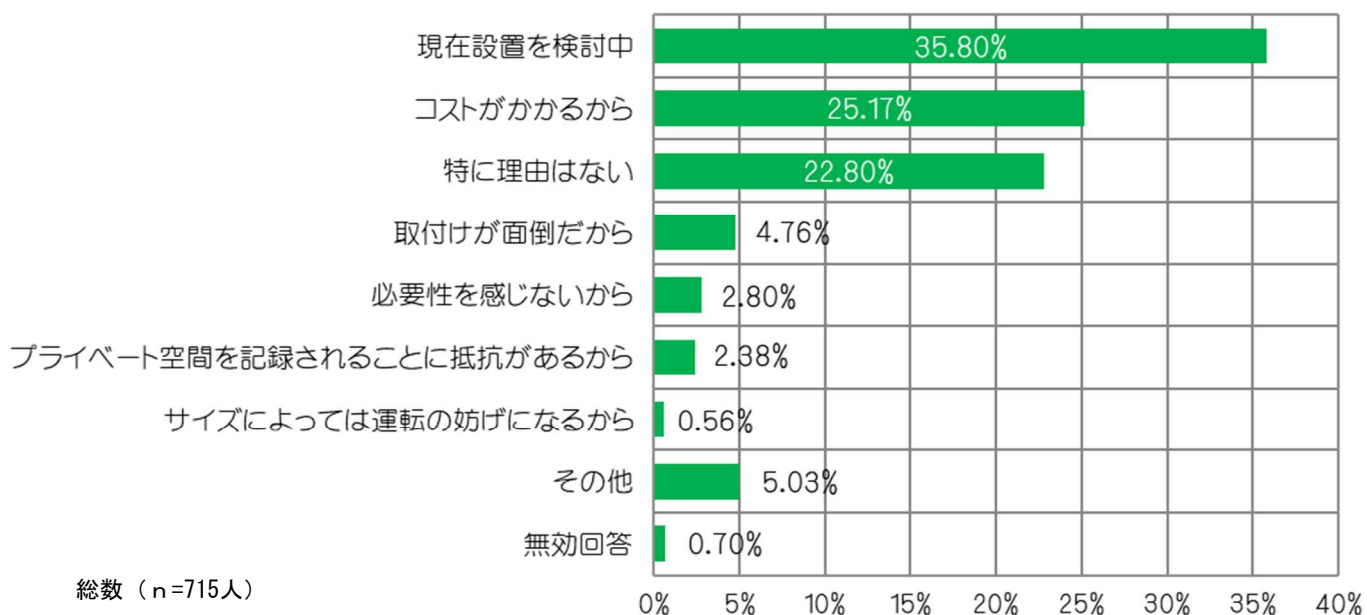


問9 問8で「設置している」と答えた方（43.75%）の理由



「交通事故が起きたときに役立つから」が最も多く約54%を占め、次いで「妨害(あおり)運転の被害を受けたときに役立つから」「家族、知人、警察官、職場等(カー用品店、保険会社)から薦められたから」となっています。

問10 問8で「設置していない」と答えた方（55.47%）の理由

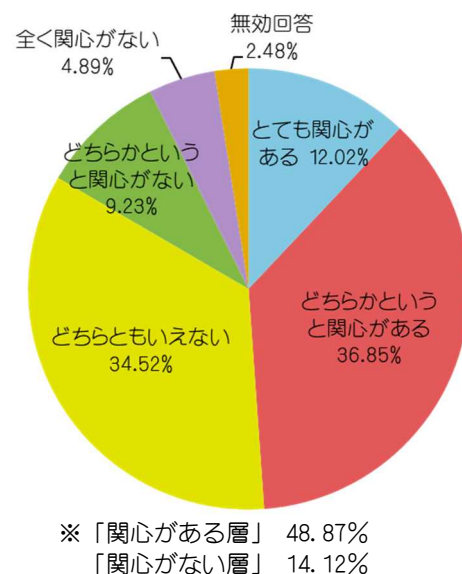


「現在設置を検討中」が最も多く約36%を占め、次いで「コストがかかるから」「特に理由はない」となっています。

4 北海道警察による広報活動

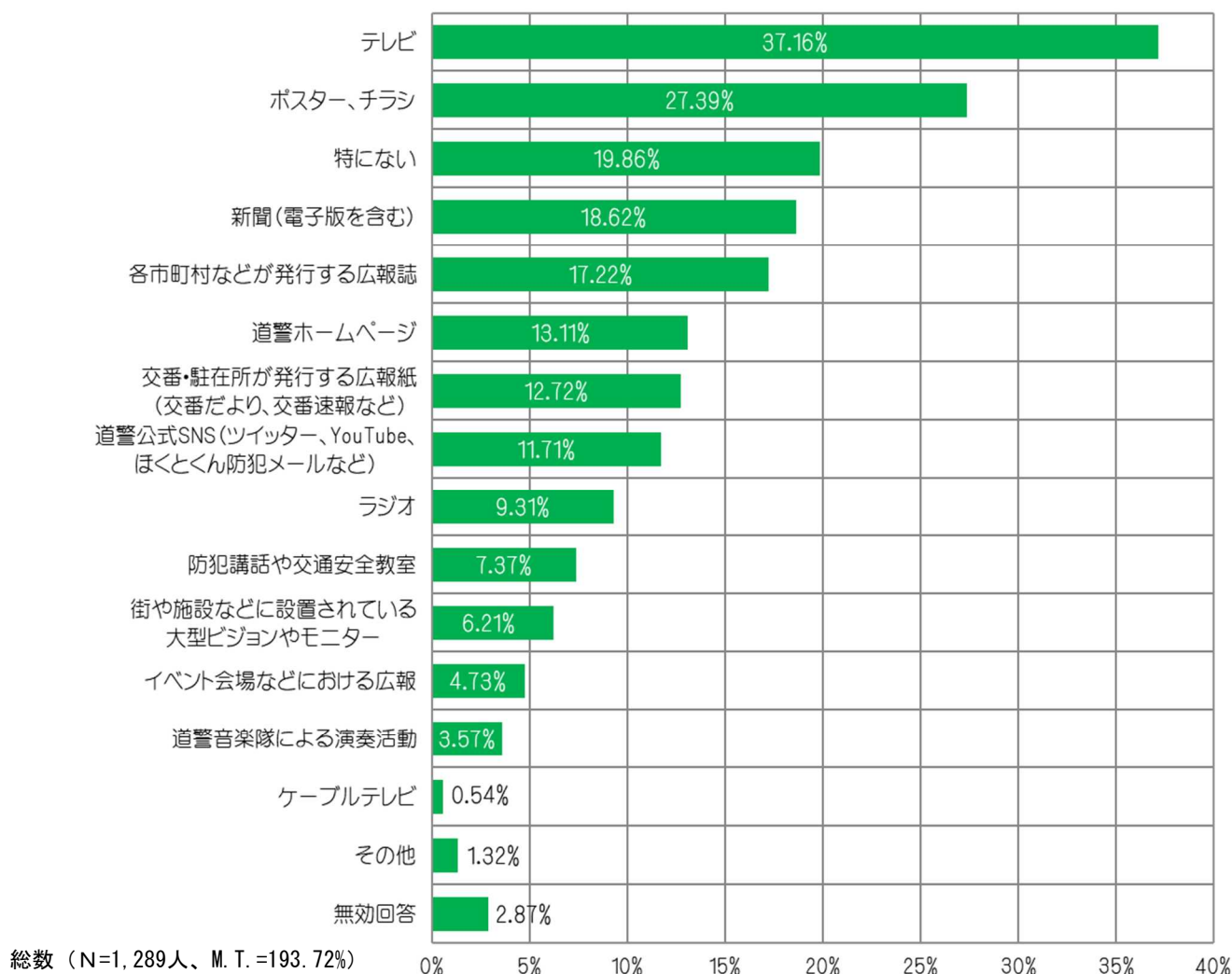
問 11 北海道警察では、様々な広報活動を通じて、治安や犯罪に関する情報を発信していますが、警察が発信する情報についてどのように思いますか。

「とても関心がある」	12.02%
「どちらかというに関心がある」	36.85%
「どちらともいえない」	34.52%
「どちらかというに関心がない」	9.23%
「全く関心がない」	4.89%
「無効回答」	2.48%



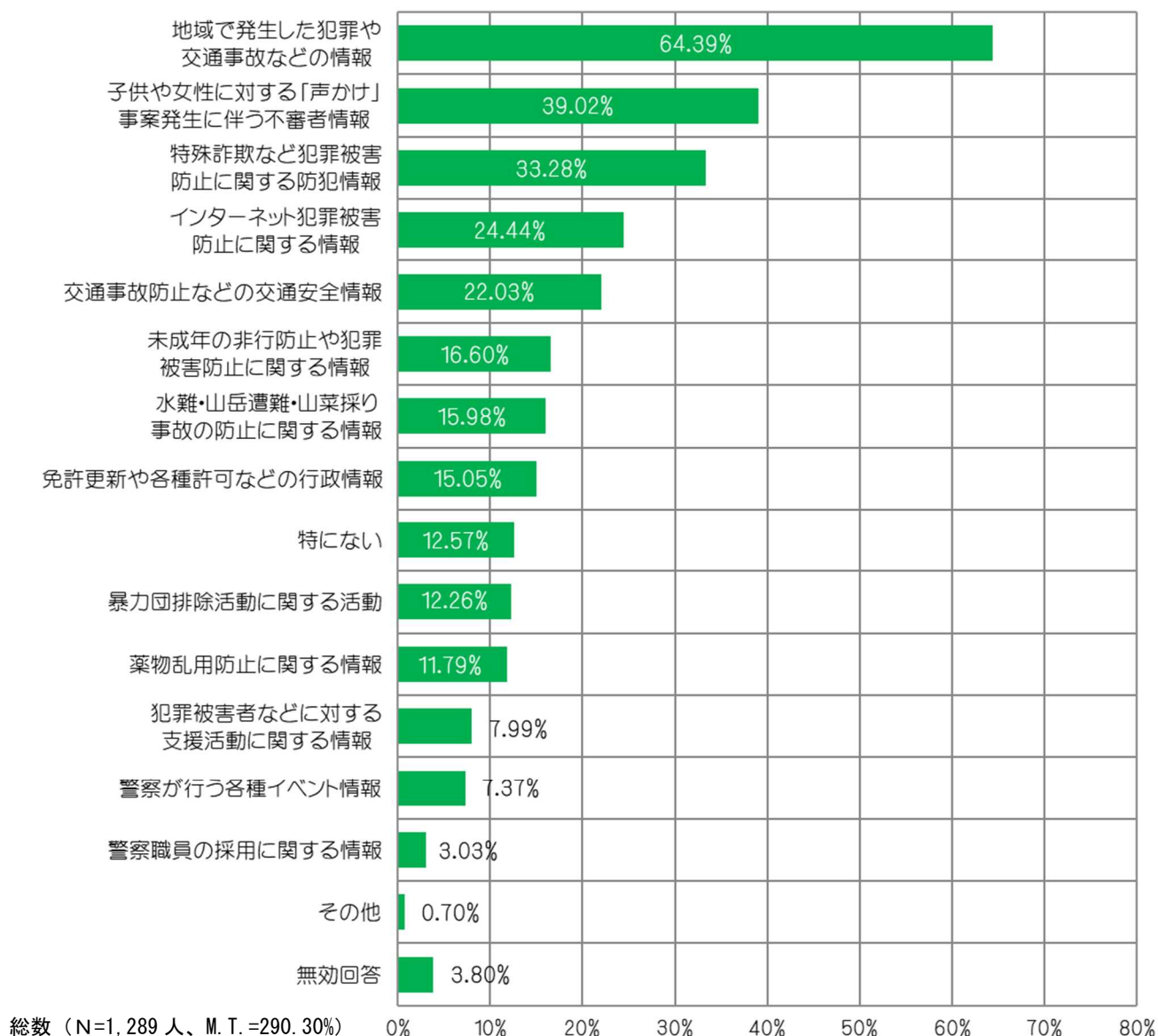
「どちらかというに関心がある」が最も多く約37%を占め、次いで「どちらともいえない」「とても関心がある」となっています。
「全く関心がない」は最も少なく約4.9%でした。
「関心がある層」を合わせると約49%の方が「関心がある」と答えています。

問 12 北海道警察が発信する情報をどのような媒体や活動で見た（聞いた）ことがありますか。（複数回答）



「テレビ」が最も多く約37%を占め、次いで「ポスター、チラシ」「特になし」となっています。

問 13 北海道警察の活動に関して、どのような情報を知りたいと思いますか。(複数回答)



「地域で発生した犯罪や交通事故などの情報」が最も多く約64%を占め、次いで「子供や女性に対する「声かけ」事案発生に伴う不審者情報」「特殊詐欺など犯罪被害防止に関する防犯情報」となっています。